



# みらい

町田市立真光寺中学校  
3年学年だより

H30.3.19.(月)  
No.60<<最終号>>

## ☆終わらない夢 歩き続けるみんなへ☆

“本当の強さ 本当の自由 本当の愛と 本当の優しさ”

3年間の中学校生活でたくましく成長し、たくさんの「本当」を見せてくれたみんなを、先生たちは誇りに思っています。

終わらない夢に向かって、これからも歩き続けるみんなへ、学年の先生方からメッセージを贈ります。



◎**治田 修幸 先生**（学年主任／1-1担任／2-3副担任／3-1担任）

“Chance, Challenge, Change”

3年間は長い。でも、終わってしまえばあっという間の3年間でした。

最初の1年は、「チャンス」の年。新しいことばかりの生活で、いろいろなチャンスをつかんで経験を積んでいく年です。2年目は「チャレンジ」の年。1年目の経験を基に、新たなことを自ら探して積極的に挑戦する年です。3年目は「チェンジ」の年。これまで経験し挑戦してきたことを踏まえ、さらに大きな自分へと成長していく年です。

3年間でみんなはしっかりとこの「3つのC」を実現して、大きく成長した心で、今、次のステージへの扉の前に立っています。一番多感で繊細な中学生という時期の3年間でみんなと過ごし、みんなの成長を見届け、そして、新しい世界へと旅立つみんなを見送れることに、大きな誇りを感じています。

義務教育を終え、社会へと旅立っていくみんなへ。社会は想像以上に厳しい。たくさんの困難にぶつかるでしょう。そんなときみんなを助けてくれることは、この3年間で身に付けた「あたりまえのことをあたりまえにやる力」です。あたりまえのことがあたりまえにできれば、周囲の人は自然とみんなを信頼してくれるでしょう。みんなを必要としてくれるでしょう。みんなを愛してくれるでしょう。そして、「あの人はあたりまえのことがあたりまえにでき、いつも一生懸命に頑張っている人だ」と、みんなを評価してくれるでしょう。そうです。「一生懸命は自分で決めるものではない。他の人が決めるものだ。」みんなの価値は、周囲の人が決めてくれます。他の人にとって、価値のある

人になれば、たくさんの困難にぶつかっても、きっと誰かがみんなに救いの手を差し伸べてくれるでしょう。そしてたくさんの方が、みんなを愛してくれるでしょう。

たくさんの方に、愛される人になってください。そのために、あたりまえのことをあたりまえにやってください。そして、「やさしい人」になってください。「やさしい人」とは、相手を思いやって行動ができる人です。相手を思いやって行動すれば、相手もみんなのことを思いやって行動してくれます。3年間みんなと過ごし、みんながどれだけやさしい人たちか、よく知っています。ですからぜひ、そのまま、いつまでも、みんなには「やさしい人」でいてほしい。そう願っています。

みんなと別れるのはとても寂しいです。でも、別れがあるから新しい出会いがあり、そして新しい出会いの中で、人はまた成長していきます。いつか、さらに心が成長したみんなに出会うために、その時を楽しみに、みんなの背中を見送ります。新しい世界でも、「3つのC」を忘れず、たくさんを経験し、挑戦し、そしてさらに高みを目指して自分を成長させていってください。大きな夢をつかんでください。

3年間、楽しくて最高の日々をありがとう。ご卒業おめでとうございます。

## ☺本田 姉麻 先生（1-2担任/2-1担任/3-2担任）

ご卒業おめでとうございます。

2週間前に卒業式の練習が始まって、初めて歌を聞いたときは、正直、卒業式までに仕上がるだろうかと不安になりました。しかし、先週の練習では涙をこらえるのに精一杯でした。みんなの表情には、「自信」や「決意」がみなぎっていて、これから新たな場に巣立っていく準備が整ったのだと感じました。みんなと過ごす3年間は、長いようであっという間でした。たくさんの思い出は、かけがえのない大切な宝物です。すてきな時間を本当にありがとう。

みんなはこれから、真光寺中を巣立って、それぞれの道を進みます。その道は決して楽しいことばかりではないかもしれませんが、でも、辛く厳しい冬の次には春が来るように、辛いことはずっとは続きません。みんなならきっと乗り越えていけます。

人は人との関わりの中で成長していくものです。たくさんの人との出会い、泣いたり、笑ったりしながら、人生を豊かにしていってください。真光寺中学校3年生110名、一人一人の幸せを心より祈っています。ありがとうございました。



◎保科 江里子 先生（2-3担任/3-3担任）

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

今日で義務教育を修了し、明日からそれぞれの道へと進んで歩いていきます。これから先、みなさんが想像している以上に楽しいこと、嬉しいこと、素敵なことが待っています。そして同じように、辛いこと、苦しいこと、逃げ出したいこともあるかもしれません。楽しいことがあったとき、その楽しさが感じられることに感謝してください。苦しいことにぶつかったとき、自分自身の普段の生活を振り返り、苦しみからの一歩を踏み出す突破口を見つけ出してください。中学校生活で学んだすべてのことは、みなさんのこれからにきっとつながってきます。どんなときでも人に感謝し、普段を大切にすることになってください。

あたりまえのことをあたりまえに。みなさんのこれからが素晴らしい未来であることを願っています。



◎山中 千尋 先生（1-1・2副担任/3-1副担任）

みなさんと過ごした日々が終わろうとしているなんて、まだ実感がわきません。

国語の授業では、授業に真剣に取り組む姿、また、友達の発言や感想を吸収しようとする積極的な姿、照れながらも、ノー原稿で行ったスピーチ、書くことに関しては1年生の時にと比べても多彩な表現で文章を作ることができるようになりました。

自分自身では気づけない成長した姿が今、ここに 있습니다。日々を大切に、何事にも真剣に取り組む過ごした3年間、みなさん、一人一人、間違いなく胸を張って卒業式を迎えられます。

ぜひ、顔をあげて、これからの新たな人生のスタートを切るべく、堂々とした姿で卒業式の入場をしてください。みなさんの晴れ舞台を楽しみにしています。

本当にありがとう！ 卒業おめでとう！ みんな！！



☺ 鵜飼 将崇 先生 (3-2・3副担任)

1年間社会科の勉強を一緒にできてとても楽しかったです。

この1年間だけでも世の中の出来事はいろいろありましたよね。みなさんには、アンテナを広く張り巡らせて社会に関心を持ち続けて欲しいと思います。高校に進学しても社会科の勉強をがんばってください。

では、私が高校時代の先生から教えてもらった言葉を贈りたいと思います。

「寧ろ(むしろ)鶏口と為るも、牛後と為るなかれ」(出典『史記』蘇秦伝)  
という言葉です。「鶏口牛後」といいます。意味は、「大きな集団の末端にいるより、たとえ小さい集団でもリーダーとなりなさい」という意味です。少しの勇気でいいですから、リーダーに挑戦してください。

元気で！！



1年生の4月に撮った集合写真です。あれから3年……みんなと出会えたこと、日々を過ごせたことに感謝します。新しい世界での活躍を、心から祈っています。  
3学年教員一同